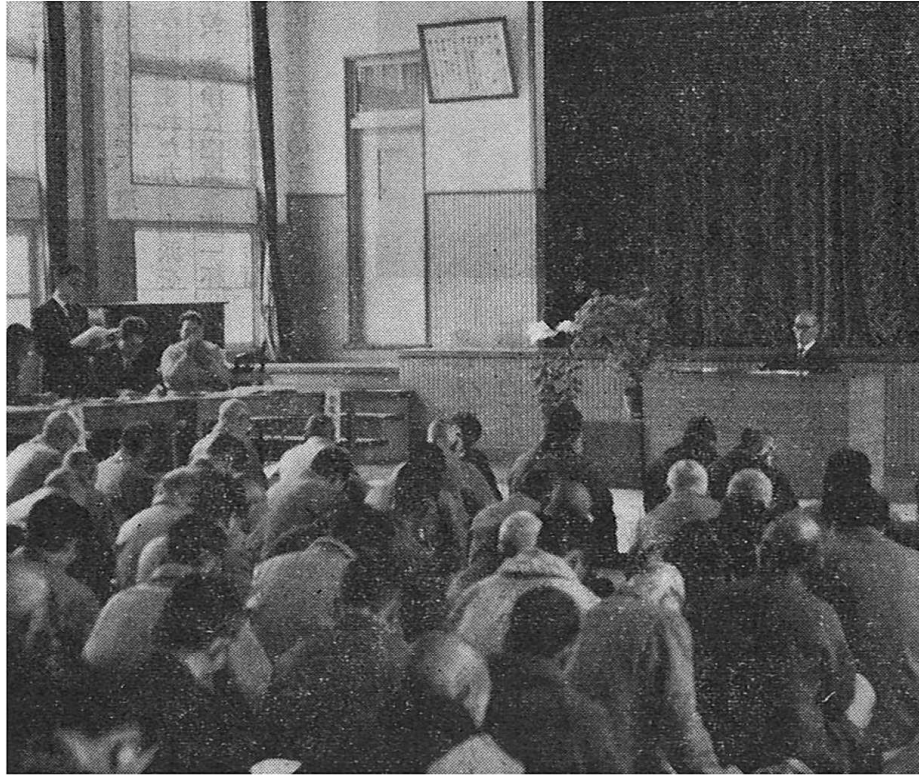


大分県報 つかえ

“津江漁業組合”を設立

下笠ダムを中心に 観光と特産のPRを

過疎の波に洗われる中津江村、上津江村及び小国町黒淵の三地区が協力し、下笠ダム湖を中心に河川のPRで過疎をはね返し、大いに利用して、魚つり観光、とそれに合せて特産品のPRで過疎をはね返し、住みよい地域づくりを行おうと去る十五日、川辺小学校に三地区の



関係者約百五十名が参加して「津江漁業協同組合」を設立しました

当日は、大分県漁政課から課長の出席があり議案について出席者から活発な意見が出され、将来性を確認されました。

計画では毎年、コイやフナ、ニジマスなどの稚魚を放流、魚を育てて訪れた観

(写真は
総会風景)

光をに魚つりを楽しんでもらう。また、観光客がふえることによって、津江地方の特産品である高山植物の盆栽、ハチ植え、椎茸、ワサビなどの売れ行きも伸び農家のフトコロもうるおいそうだとアイデア。

放流する稚魚はコイ、フナ、ニジマス、ウナギ、エノハの五種類としております。これは六月に県内水面漁業試験場から技術員を招き水質を調べた結果、それに適した種類としたものです。

稚魚は日田淡水漁センター、宮崎県五ヶ瀬養魚物などから買入れ、来年四月と五月に放流します。また、遊漁料は一日百円から一年千五百円まで魚の種類や漁法で八段階に区別されています。

ダム建設のための村外移転と鯛生金山の閉山などで本村の人口は過疎化が激しいだけにその歯止め策として大きい期待がかけられております。

十二月

ビーツと音を立てて入ってくるスキ間風に首をすくめながら、思わずコタツの布団を肩までカキ上げて……どうもコタツの温度が上らないものです。

さようなら70年！
つい昨日までは悠然とかまえていたものの、十二月の声を聞くと心なしか忙しくなりがちです。

師走(しわす)という十二月の別称が、とかく暮しのうえのあわたゞしさに輪をかけているようです。

いよいよ日が短かくなり、たったいま昼食したのにもう薄暗くなつて来て……二十日は冬至。今年のうちにあれもこれもしなければならない仕事が残っております。でも夜が長くなります、順序をたてて処理したいものです。

村の動態

11月30日現在	3,138人	現在人口
男	1,525人	男
女	1,607人	女
世帯	723戸	世帯
住民基本台帳から		

“歩こう会” 村民の親ぼくと 保健体位の向上を

故障者もなく家路に急ぎました。
急峻の渡神岳はすでに秋の気配が濃厚で、遠く薄がすみにも包まれた九州山脈を眺め、清浄な空気を腹一杯に吸いとり健康である幸福感に浸ったものです。

中津江村と中津江教育委員会は、天あくまで青く澄み切った十一月、村民相互の親ぼくと保健、体位の向上をねらいとして、歩こう会々を実施しました。

早朝から三三五五、登山口に集った参加者は老若男女約八十名、中には七十才を越した方から小学生まで多彩な顔ぶれは元氣一杯、標高一、一五〇メートル由しよも名高い渡神岳山頂目指して掛声も勇ましく出発しました。
当日は陳ノ尾の広い原野で、宝物さがしやいろいろなレクリエーションがくり広げられ、参加者全員一日を楽しく過ごし、秋の陽が西の端に沈むころ、一名の



(写真はレクリエーション)

新しい

選挙管理委員が きまりました

去る九月の臨時村議会で任期満了による選挙管理委員の選挙があり、次のようにきまりました。

- 委員長 武原 保
- 副委員長 北村益郁
- 委員 長谷部忠夫
- 委員 梶原美民

きょうなら“70”

あんなこと

こんなこと

がありました

いろいろなことがありました。国際的には年末近くなってパキスタンの大地震、国内的には予想もしなかった航空機乗っ取り等々。
▼五月の村議会で日興産業工場誘致の決定がみられ、産業衰微の現況に大きな希望とひかりがあたえられました。いろいろの問題がありますが来春には操業開始が出来そうです。

▼三月三十一日付で、伝来寺庭園が大分県文化財に指定されました。この庭園は鎌倉時代に建立され由緒あるものとして保存されてきましたが、文化財指定により大いに今後の教育、文化に寄与されるものです。
▼大分県は日本一という

改良、舗装が進んでいます。御承知のように日田から木弓部落までは一部分を残してコンクリート道路になりました。今後もあるだけ延長されるようです。

一方、村道林道網の整備により、各部落に自動車が入りますが今年も部落民の汗の努力奉仕によって、春秋二回の道路愛護が行なわれました。御苦労でした。来年もよろしく。

▼漁業組合が設立されました(別記)。今後の村づくりの根幹となってもらいたいものです。

暗

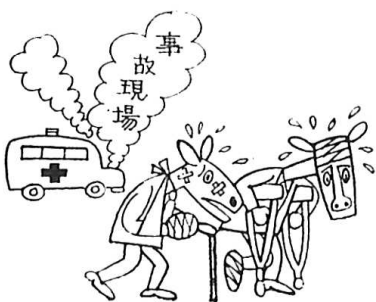
▼何といつても鯛生金山の閉鉱は青天のへきれきでした。東洋一の実績があり、中津江村民の心の糧として自他共に許し一大産業として昔の繁栄の再現を祈っていたものでした閉山によって就労者の村外転出が続きました、しかし、梅野地区の探鉱は着々と進められており、大いに期待したいものです。

▼十月一日現在で国勢調査が実施されました。五年毎に行なうものですが調査の結果、三千人の大台を割

つており全く驚きの一語につきません。過疎現象は本村のみではありませんが特に下釜ダム建設、鯛生金山の閉山による村外転出が過疎に拍車をかけたようです。来年はさらに、みんなが手をとりあい、村づくり協力したいものです。

▽マイカーの増加などのため採算がとれないのか、定期バスがワンマンとなり栃原で乗りかえ、ベッピン車掌さんの「何円です」がなくなり、自分で計算不便の上なし、時代の流れか▽交通事故死ついに発生遺族の心痛察するに余りあるもの。注意の上にも注意運転を。

野次馬は
大ケガのもと



小学校陸上記録会 中津江中学グラウンドで

毎年行なわれております
村内小学校の陸上記録会が
去る十一月八日、中津江中
学校グラウンド今年でも開
催されました。(昨年は中
学校体育館建築のため中止
)

この記録会は村、郡、県
とつながっており、年度の
終りに県下で二十位までの
記録が発表されます。

当日は絶好のスポーツ日
和に恵まれ、村内各小学校
から選抜された選手が、好
記録に向って懸命の力走、
力投をくりひろげ、大会新
記録も続々と生れました。
記録は次のとおり

(一位のみ)

▽五十メートル

五年男子 八、一秒

川辺小 水野浩二

五年女子 八、五秒

鯛生小 河野千保

六年男子 七、八秒

鯛生小 山口幸生

六年女子 八、三秒

川辺小 後藤さゆり

▽走巾跳

五年男子 四、一〇米

鯛生小 栗原 太

五年女子 三、五五米

鯛生小 河野千保

六年男子 四、一〇米

川辺小 川村英明

六年女子 三、七五米

丸蔵小 石川晴美

▽走高跳

五年男子 一、二〇米

川辺小 矢野茂富

五年女子 一、〇八米

鯛生小 坂井奈緒美

六年男子 一、二四米

川辺小 鷹野伸二

六年女子 一、二四米

(大会新)

川辺小 後藤さゆり

▽ボール投げ

五年男子 四九、九〇米

(大会新)

鯛生小 稲吉裕二

五年女子 三二、八九米

(大会新)

鯛生小 坂井奈緒美

六年男子 四八、一五米

川辺小 櫛原弘巳

六年女子 三〇、六〇米

丸蔵小 猪野典子

日田郡中学校は十一月七
日、勝坂、吉原間に於いて
第四回日田郡中学校駅伝競
走をくり広げました。

郡内七校(七チーム)九
十一名の選手が参加し、秋

第4回 日田郡中学校駅伝

中津江中学校優勝

ました。(順位とタイムは
別表のとおり)

▽区間賞

一区 (三、〇Km)

東溪中 小田伸也

十分五十三秒

二区 (三、五Km)

東溪中 三樹輝男

十一分五十九秒

三区 (三、〇Km)

中津江中 永瀬喜美男

十分三十二秒

四区 (四、〇Km)

前津江中 三笠貞信

一三分二秒

五区 (二、五Km)

東溪中 飯田謙二

六区 (二、〇Km)

鯛生中 宮本裕二

七分〇三秒

七区 (二、〇Km)

大山中 横田辰己

六分三十二秒

八区 (三、〇Km)

東溪中 藤原淳司

十分四十一秒

九区 (三、五Km)

東溪中 高倉三弘

十二分三十九秒

十区 (三、〇Km)

中津江中 川村栄至

十分三十五秒

第4回 日田郡駅伝競走記録

順位	チーム名	記録
1	中津江中学校	時間 分 秒 1. 44. 59
2	東溪中学校	1. 45. 08
3	前津江中学校	1. 46. 54
4	上津江中学校	1. 48. 01
5	鯛生中学校	1. 49. 07
6	五馬中学校	1. 52. 01
7	大山中学校	1. 54. 07

村長選挙の投票は 記号式になりました

次の村長選挙から、投票
は記号式で行なわれます。

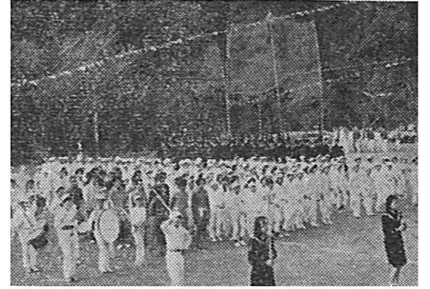
これは、投票用紙に村長
の候補者の全員の氏名が印
刷してありますので、投票
する人は、自分が投票しよ
うとする人の氏名の上の丸
印を押すらんに、投票記載
所に備えつけてある丸印を
押す用具(ハンと赤のスタ
ンプ台)で丸印を押すので
す。自分で丸印を書いたも
のは無効になります。

市町村長の選挙は、とか
く問題がおこりがちで、大
分県でも今までに、数票ま
たは十数票の差の場合等で
選挙訴訟になった例が何回
もあり、その決果落選した
人が当選となり、任期の終
り近くに町村長が交替した
事件等もあり、記名式では
字の判読がむづかしくてこ
のような事が起るので、今
大多數の市町村が、この記
号式投票になっていきます。
くわしくは各世帯に、パ
ンフレットなどを配って説
明をすることになっています

昭和四十五年度第十八回産業祭は、良く晴れ渡った勤労感謝の日、会場を中津江中学校において盛大に開催されました。

盛大に産業祭 ざっと1,300人の人出 にぎわった体育大会

早朝は雲行きが心配されましたが次第に晴れ上り、開門と同時にぞくぞくとつめかけた参加者は約一、三〇〇人を数へ、計画どおり



(堂々の入場行進)

の盛況でした。

今年には時代に応じて農産物品評会はもちろん花木の展示がおこなわれ、丹精こめた素晴らしい一品に参観者は時のたつのも忘れて見とれるありさまでした。

農産物は予想外に出品数が少なくさびしい感もあり



(ウチのは何等賞?)

ましたが出品された物は見事なものばかりでした。

小中学生による作品展示会、婦人会有志の生花展では優雅な作品にしばし心のやすらぎをおぼえてくれました。

いよいよ午前十時、助役の開会宣言、村長あいさつに続く体育大会の開始。

小学生鼓笛隊を先頭にした役員、選手の堂々の入場行進につづ

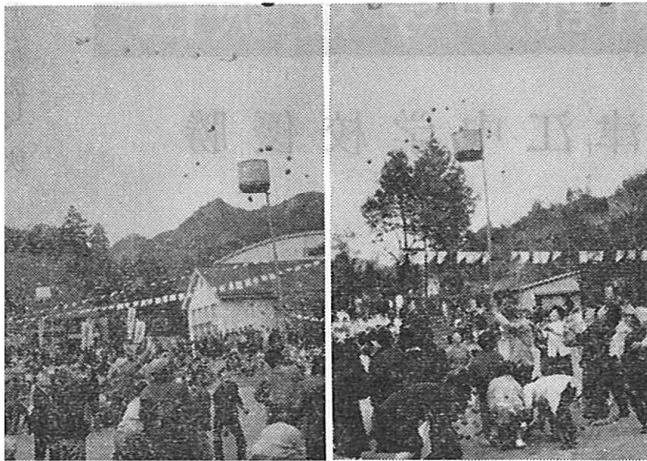
いて若いも若きもあり沢山のプログラムによって一日を楽しく過しました。

日頃の練習をそのまゝ披露した各小、中学校の遊びダンス、

体操にはスタンドから惜しめない拍手が送られ、一般競技には爆笑の渦に巻かれました。



(二鉢何万円?)



父ちゃん、母ちゃん ガンバレ!! 入った 入った

頃には全競技が終り、恒例の農産物競売会が始められ、野菜などは不作のため一杯ヒツカケたオッチャン達の威勢の良いせり声が遅くまでひびいていました。



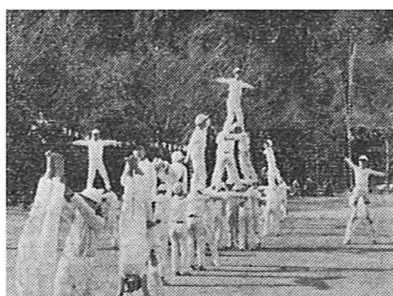
(ガンバレ ガンバレ)

(ジーサン 腰が高ケエバイ)

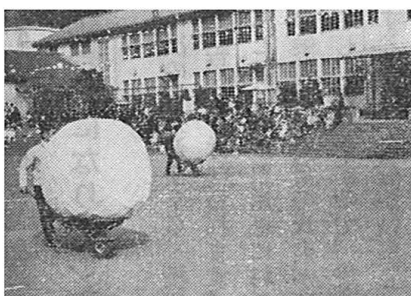


(手を出しちやダメヨ)

(ドウデスこの演技)



(前がサッパリ見えんで)



青年団主催のバザー会場は終日超満員、係員はテンテコ舞いのうれしい悲鳴。秋の陽がグラウンドを去

歳末たすけあい運動

広くご協力を

毎年十二月の声を聞くと
 “歳末たすけあい”という
 ことを聞き、ひろく一般
 に親しまれてきました。がそ
 の歴史はかなり古いもので
 す。一般大衆によびかけて
 たすけあいを行なったのは
 救世軍が最初といわていま
 す。明治四十一年に街頭に
 進出し「慈善鍋」によつ
 て大衆によびかけるよう
 になりました。

運動の方法は、住民の自
 発的な意志によるものと、
 全国的な広域たすけあいに
 分れています。

「たすけあい運動」が、
 向う三軒両隣の範囲から、
 顔をみたくともない町や村
 の人にまで広く通い、文字
 通りたすけあいの心を心と
 してみんなが楽しいお正月
 を迎へたいものです。

その後経済の変動、社会
 のうつりかわりなどで形が
 変わってきましたが、終戦後

来年の成人式は 一月五日に行います

昭和四十六年成人式は、
 一月五日に実施することに
 なりました。

進学、就職先などから正
 月に帰郷して、中津江村で
 成人式を迎えたい方などの
 ために来年は繰り上げて行
 うものです。式は午前十時
 から中津江村役場大会議室
 で実施しますが、対象者は

昭和二十五年四月二日から
 昭和二十六年四月一日まで
 に生れた方です。

各部落に対象者名簿を回
 らんいたしますので、もし
 名簿にもれていない方や当
 出席出来ない方がおられま
 したら、中津江村教育委員
 会（役場内）まで電話でも
 結構です。から御一報下さい

冬のある日の献立

	献立名	材 料	1 人 分	5人分目安	作 り 方	※ の み
朝	ごはん	米(強化米麦入)	120g	3¼カップ	※だいこんの納豆あえ	
	みそ汁	油味豆煮	揚 8 噌 20 腐 50 干 3	2枚 大きじ3 ½丁 15g	1、だいこんは5mmの角切りにし、薄く塩をしてしんなりさせ、軽く水を切る 2、納豆は荒くきざんでおく 3、納豆、とき辛子、卵、しょう油を器に入れてよく混ぜ合わせ、納豆が糸を引くようになったら最後にだいこんを入れて合やす。	
	※だいこんの納豆あえ	だいこん 豆油子 しょう辛子 卵	40 60 25	200g 2袋 大きじ1 小さじ1 2コ		
昼	ごはん	米(強化米麦入)	120	3¼C	※ほうれんそうの中華風ひたし	
	鯖の塩焼き(おろし大根)	鯖(塩)	80	400g	1、ほうれんそうは色よくゆでて長さ4cmに切っておく	
	※ほうれんそうの中華風ひたし	だいこん しょう油 白ごま油 砂糖	20 50 3 2 3	100g 250g 15g 10 15g	2、白ごまにいつてきりごまにする。 3、器に盛り下記の割り合で作ったつけ汁をかける。 (つけ汁の分量) ごま油 小匙½弱 しょう油 小匙1½杯 砂糖 ¼杯 化学調味料	
	かしはごはん	米(強化米麦入)	120	3¼C	※フロフキ大根	
		鶏肉 人参 揚げ油	40 20 15 5	200g 100g 75g 25	1、大根は皮をむき、厚さ7ミリ位の輪切りにして、きれいに面をとる 2、だし汁を深めの鍋に入れて①を加え、しょう油、塩調味料、酒少々で下味をつけてやわらかくなるまでおとしぶたをして中火で煮る 3、白ごまをいつてよくすりつぶし、みそ、さとう、みりんを加えてよくすり混ぜ裏ごしをして火を通す 4、深目の皿に盛り、上からみそをかける	
夕	※フロフキ大根	大砂みみり白ご	200 20 20	1K 100 100		
	豆腐の清汁	豆春子 腐菊皮	50 20	250 100		

